

アンケート集計表

2017.4月全体会 集計: 岡本

所属	1)医療機関	2)施設	3)在宅サービス事業所	4)行政	5)その他
	2	10	2	5	1
職種	介護士	ケアマネ	看護師	医師・歯科医師	その他
	4	6	3		6
問1: 全体会の開催曜日について	1)月曜日	2)火曜日	3)水曜日	4)木曜日	5)その他
		1	9	3	平日ならいつでも
問2: 全体会の開催時間について	1)午後6時30分開始	2)午後7時開始	3) その他		
	8	8	16時、17時、17時半、18時	~21時: 2	
3:皆さんの職場やお住まいの小国郷地域で困っている事、今後取り組むべき課題は何ですか?					
看護師・介護士などの人材不足					
専門職の人材確保と登録制度創設					
『人材確保』⇒医療・福祉での現場でも承継する人材が不足しています。人材不足が続くと事業の縮小も。小国郷外からの人材確保も					
人材バンクがあれば					
高齢化、若い人がいない為、求人応募が少ない。地域では野焼きや清掃作業などの担い手不足					
専門職の確保					
在宅復帰について					
ケアマネ⇔Ns. の連絡に時間がかかる、もう少しスムーズに。(MSWの介在でスムーズになると思う。)					
認知症の方を在宅で介護する際の見守り、共働き家族の子供の見守り					
高齢者の行方不明が発生しているの、認知症による徘徊のある方をどのように地域で支えることができるか。(2)					
高齢者の運転:交通の面で、もう少し便利良い取り組みが必要					
在宅での介護は家族との協力がいるので信頼関係と密なやりとりが課題として難しい					
災害で避難してもトイレの心配(場所や介助人)があり自宅を離れないとの声がある。					
退院された方が利用する際の情報を次のサービス事業所にスムーズにつなげていけるように					
問4: 昨28年度は災害、看取りをテーマに全体会を行ってしましたが、今年度取り上げたいテーマは何ですか?					
子供・大人のロコモ、介護予防事業と(看取りの2本立ての勉強(若い人にも参加できる方策)					
災害時の具体的な連携方法。備蓄品を1カ所に集める?発電機がある施設など					
看取りについて引継ぎ協議。小国郷で対応できる規模まで					
看取りについて継続を					
もう何回か看取りを深める					
看取りの第2弾					
看取りは継続してテーマとして必要					
介護職・看護職の離職を止めるには?職場でのやる気を維持できる取り組み					
65歳以上の方が仕事を続けていく、シルバー人材活動など、年輩者が頑張れる小国郷を発信して欲しい					
男性(働き盛りで介護に携わっていない方)の認知症への理解が深まる取り組み					
町民に事前にアンケートをして生活に対する不安や興味のある事等を聞いてみては。					
他職種の仕事の内容の紹介					
問5: 事例発表会で取り上げたい事例やテーマは何ですか?また、検討会の進め方、事例発表の仕方についてご意見があればお願いします。					
(取り、子ども、サービス提供に留まっている事例への支援策の検討、医療や福祉のお互いの活動が、分かるような事例検討など、自由にお書きください。)					
「看取り」についてはまだまだ問題解決には到っていない。せめてガイドブックのようなものでも「形」にして示してほしい					
病院・施設・在宅の連携の流れが分かる事例					
高齢者と子(特に男性)だけの家族に対する支援策について					
居宅支援事業所や各施設より順番で事例を出してもらってはどうか?					
各事業所からの事例発表は負担が大きいですか?					
あんしんネットワークを活用して、どのようなメリット、又は不足なことがなかったか。					
認知症カフェを通じての事例・医療福祉の連携を通じた事例・家族との関わり困難事例・在宅での看取りの事例					
小児医療等					
問6: 今回の全体会についての感想と、小国郷医療福祉あんしんネットワークの活動についての要望をお書きください。	全体会に参加して	1)有意義だった	2)参加できなかった	3)お取り次ぎできなかった	
		3	9		
	本日の参加が30~40名。もう少し参加者が欲しい。				
	余裕がなく、しっかりと参加できなかった				